



Profile

宇野 宇(うの う)

ウノプロダクション株式会社

03-5410-5065



放送作家、作詞・作曲家、演出家、タレント、童話作家。

ウノプロダクション株式会社 代表取締役社長。

日本放送作家協会、日本脚本家連盟、日本音楽著作権協会(JASRAC)。

1958 年生まれ、大阪府出身・東京都在住。

父の影響で3歳からピアノをはじめ、ピアニスト・指揮者を目指すのが 12 歳で挫折。

1981 年、大学卒業と同時に放送作家・新野 新氏に師事、放送作家となる。

ペンネームの名付け親は、師匠と笑福亭鶴瓶氏。

漫才・コント・ショーの台本、テレビ番組の企画・構成・演出、クイズ&ゲームの開発、ステージの演出、舞台監督、ラジオディレクター、CMプランナー、コピーライターを手がける。多忙な時期は週レギュラー20本超、ヒット番組は多数。また、新聞や雑誌の署名連載は多数。1993年、吉本興業・大阪本社に異例のデスクを貰い、3年間、企画や海外戦略を手がける。

1996年、仕事の拠点を東京に移す。電通にて約1年間企画を書く。

バラエティから、ドラマ・映画・音楽の仕事へ方向転換。

フジテレビ『奇跡体験！アンビリバボー』でテレビディレクターを経験。

2002年、フジテレビ 全国31局ネット『旬が好き！』(全62話)では、脚本と、主題歌、エンディングテーマを書く。

2008年「ウノプロダクション株式会社」設立。「放送作家集団ストレンジャー」主宰。

弟子は20名ほど、事務所の契約放送作家は60名を超える。

2009年2月～2014年9月、FM音楽朗読番組『小高麻友美のミュージックストーリーズ』(全309話)では、60～70年代のフォーク、ロック、海外アーティストなどの感動的バックストーリーを大量に書く。

NHK「輝く女・北川景子」、BSフジ「桂歌丸・落語家生活50周年」、BS日テレ「檀れいのスペイン・バスケット物語」など、企画・構成番組も多彩。

現在は、企画もの、トーク番組、人物ドキュメンタリーなどの作家仕事とは別に、コンセプター、ストーリーメーカー、ブランディングプロデューサーとしても活動。

2011年、心の詩 小高麻友美の『記憶の中の言葉』(全66編)作成

2021年、童話『ライオンになったカバのおはなし』(二か国語版、英語版、日本語版)も好評。

このほか、愛の歌『カントリーロード』『心の時間』『愛があるから』や、演歌の作詞など。

タレント活動として、「スマイルトークショー」(笑えるコミュニケーショントーク/45分・60分・90分・120分・150分)も好演。持論である「原点回帰論」をベースに、愛情、尊敬、性格、環境、情熱、感謝といったメンタルアップメソッドを、多彩なジャンル、カテゴリーのステージで、様々な世代に熱い言葉を届けている。

記載したものは、全ての活動・全ての仕事の、ごく一部です。